

IIS NEWS

☆ 講 演 ☆

- ◇教授 永井芳男 助手 田辺正士「アントラセン分子における塩素原子導入の効果」日本學術振興会第116ターム製品高度利用委員会研究業績発表講演会 (1955. 6. 16)
- ◇教授 永井芳男 助手 後藤信行「無水ナフタル酸のクロル誘導体について」同上
- ◇助教授 浅原照三「ベンジル・アルキルケトン合成」日本油脂化学協会第 4 回関西講演会 (1955. 7. 22)

☆ 寄 稿 ☆

- ◇助教授 浅原照三 特研生 後藤健一「ゼラチン滴法による薄膜防錆油の発錆試験」金属表面技術, 6, 138 (1955. 7)

☆ 輪 講 会 ☆

去る 1 月 31 日から第 3 部で開始された Bode の著書 "Network analysis and feedback amplifier design" の輪講は多大の成果を収めながらその主要部分を終了し、7 月 25 日に第 22 回をもって終了した。次の輪講は 9 月に開始する予定で、text は未定であるが、なるべく多数の人に役に立ち、しかも相当レベルの高いものを選定すべく、目下調査中である。

☆ 海外事情 ☆

富永五郎助教授 (第 1 部) は去る 4 月 6 日からインドのニューデリーで開かれたアジア諸国会議に出席し、あわせてインド各地の研究所を視察する目的で 3 月 30 日に羽田を出発した。帰路中国に立寄り各地の諸施設を見学して 5 月 29 日帰国した。インド・中国にて見学した関係諸研究所・大学・施設は次の如くである。インド: Indian Statistical Institute, Bose Institute, Institute of Nuclear Physics, Faculty of Physics of Calcutta University, National Physical Laboratory, Pusa Institute, Patel Chest Institute 等 中国: 中山大学 (広州) 華中工学院, 武汉大学, 国綿一廠, 漢水鉄橋および同公路橋, 汽車修理工場 (以上武漢), 北京大学, 応用物理研究所 (以上北京) 国营第一機械廠 (瀋陽) 鞍山製鉄所, 撫順炭鉱および同石油工廠等。

☆ 海外出張 ☆

藤森栄二技官 (第 4 部) は、去る 9 月 1 日空路渡米した。ミネアポリス市, ミネソタ大学に研究員として招へいされ、有機・蛍光および感光物質の研究 (特に最新の Flash photolytic—Flash Spectrographic Techniques による) をさらに進めるため、約 1 年間にわたり研究を行う予定である。

IIS NEWS

筆 者 紹 介

- | | | |
|-------------|-------------|---------------|
| ◇金森研究室 | ◇細川宏一 大学院学生 | 専攻 衝撃電圧特性 |
| 金森九郎 教授 工博 | ◇莊司 敦 雇員 | 専攻 応力測定 |
| 和泉沢 信 雇員 | ◇三木五三郎 助教授 | 専攻 土質工学 |
| ◇坪井善勝 教授 工博 | ◇今村芳徳 雇員 | 専攻 同上 |
| ◇若林 実 助手 | ◇玉木章夫 教授 工博 | 専攻 気体力学・熱伝達 |
| ◇大井光四郎 助教授 | ◇柳下小太郎 研究生 | 専攻 金属物理学 |
| ◇浅野六郎 技官 | ◇谷 安正 教授 工博 | 専攻 塑性物理学・電子工学 |
| ◇藤高周平 教授 工博 | ◇野村民也 助教授 | 専攻 電気計測・電気制御 |

編 集 委 員

- 編集委員長 岡 宗 次 郎
 編集委員 森 大 清 市
 *末 岡 清 市
 松 永 正 久

編 集 委 員

- 互 理 厚
 高 橋 幸 伯
 *森 脇 義 雄
 丹 羽 登
 高 橋 武 雄

編 集 委 員

- 武 藤 義 一
 中 村 康 治
 三 木 五 三 郎
 浜 口 隆 一
 星 野 昌 一

編 集 幹 事

- 下 村 潤 二 朗
 編 集 室 水 野 晴 明

(* 印当番委員)

本誌の実費頒布をご希望の方は下記へご照会下さい。

千葉市弥生町 1
 財団法人
 生産技術研究奨励会
 振替口座東京 108697

第 7 卷 第 9 号 生 産 研 究

1955 年 8 月 25 日 印刷

(本誌は生産技術研究所の研究紹介誌として、毎月 1 回発行する)
 1955 年 9 月 1 日 発行

編 集 者 岡 宗 次 郎
 発 行 者 星 合 正 治

印 刷 者 三 美 印 刷 株 式 会 社
 東 京 都 千 代 田 区 神 田 多 町 2 の 7
 発 行 所 東 京 大 学 生 産 技 術 研 究 所
 千 葉 市 弥 生 町 1
 電 話 千 葉 366 ~ 370